



(公社)神奈川労務安全衛生協会
小田原支部
小田原市本町2-3-24
TEL 0465-24-1753
発行責任者 支部長 川村豊彦
編集 広報部会

支部長あいさつ及び 令和5年度の活動について

かわ むら とよ ひこ
小田原支部長 川村豊彦
Meiji Seika ファルマテック(株)



青葉が目まぶしい
このごろ、皆様には
益々ご健勝のこととお
慶び申し上げます。

第13次労働災害
防止計画（2018年か
ら2022年の5か年計
画）の最終年となる
2022年の小田原労働基準監督署管内の災害
発生状況（2023年1月末現在の休業4日
以上の休業災害件数）は、製造業は目標44
件に対して53件、建設業は目標31件対
して49件、陸上貨物運送事業は目標28
件に対して68件、全産業にあたっては目
標306件に対して災害発生件数は631
件と残念ながら目標を達成することが
できませんでした。一方、死亡災害に
関しては、全産業で発生しておらず
「0件」を達成することができました。
これは、会員各位皆様の日頃からの
地道な労働安全衛生活動の取り組みの
成果であり、今後とも地道な組みの
積み重ねで労働安全衛生活動を展
開して頂きたいと思っております。

さて、2023年から始まる「第14次労働
災害防止計画」の内容は、これまでの考
え方から大きく変更になります。

これまで、「労働災害あるいは健康確保・
職業性疾病等の発生件数」など数値
目標が設定されており、その目標達
成に向けて大きなテーマで個別事
業場が取り組みを行う方式と

受け止めていました。

これに対して、今回設定された「第14
次労働災害防止計画」では、「アウトプ
ット指標」（事業場において実施さ
れる推進項目の進捗状況を把握する
指標）と「アウトカム指標」（項目
ごとに期待される効果が達成でき
ているか確認する指標）が設定され
ました。その内容を確認したところ、
一見わかりづらいように見えますが、
事業場の取り組みとしては、これま
で通り「実施項目を定め、到達点
を決めて、計画的に実行する。」そ
して、これまで通り「安全な状態、
安心な職場環境に改善し維持して
いく。」ことであると受け止めました。
基本はこれまで通り決めたことを
地道に実行するものであります。そ
うした積み重ねが、個別事業場の
実績が、労働基準監督署管内に、
そして、神奈川県全域に広がり、
全体として「安全で安心できる職
場の形成」が図られるものと受け
止めました。

第14次労働災害防止計画の初年度
である本年2023年も地道に労働
安全衛生活動を展開し、会員事業
場の皆さんと共に連携していきたい
と思っておりますので改めて宜しく
お願い致します。

最後になりますが、小田原支部並
びに会員事業場の益々のご発展と
関係各位のご健勝を祈念しまして
支部長のご挨拶といたします。本
年度も計画通りの取り組みを行い、
労働災害撲滅に邁進していきま
しょう。

令和 5 年度の重点施策について

小田原労働基準監督署

署長 木村 隆 志



小田原労働基準監督署長の木村と申します。昨年度同様、本年度もよろしくお願いたします。

公益社団法人神奈川労働安全衛生協会小田原支部及び会員事業場の皆様におかれましては、日頃から労働行政の推進に多大なるご理解とご協力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの影響により、およそ3年間に亘り、私たちの社会生活はこれまで経験したことのない様々な困難な状況に遭遇してきました。本年度になり、ようやく終焉に近づきつつあり、元の生活をやっと取り戻すことができる状態になってきました。このような社会情勢の中、私どもは総合労働行政機関としての機能を発揮し、地域のニーズを的確に捉え、地域の実情に応じた取組を進め、本年度も労働行政を推進していきます。

労働行政は、雇用環境・均等行政、職業安定行政、労働基準行政と、大きく3つの分野に大別されます。令和5年度の神奈川労働局の重点施策のうち、労働基準監督署が担う労働基準行政の重点施策は以下のとおりです。

○最低賃金・賃金の引上げに向けた支援の推進等

*最低賃金・賃金の引上げに向けた生産性向上等に取り組む企業への支援

*最低賃金制度の適切な運営

○柔軟な働き方がしやすい環境整備

*良質なテレワークの導入・定着促進

*フリーランスとして働く方が安心して働ける環境整備

○安全で健康に働くことのできる環境づくり

*長時間労働の抑制

・時間外労働の上限規制適用猶予事業・業種（自動車運転者、建設業、医師）への労働時間短縮に向けた支援

*労働条件の確保・改善対策

*第14次労働災害防止推進計画の推進

・事業者が自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発
 ・労働者の作業行動に起因する労働災害（転倒・腰痛）防止対策の推進
 ・高年齢労働者の労働災害防止対策の推進
 ・業種別（建設業・陸上貨物運送事業・製造業）の労働災害防止対策の推進
 ・新たな化学物質の周知、石綿ばく露防止対策の徹底
 ・産業保健活動、メンタルヘルス対策の推進

*迅速かつ公正な労災保険の給付

*労働保険制度の適正な運営

・電子申請の利用促進
 ・労働保険の未手続一括対策の推進と収納未済歳入額の縮減

*総合的なハラスメント対策の推進

上記のとおり、行政課題は山積していますが、神奈川労働局の本年度のスローガンである「すべての人がいきいきと働けながわを目指して」の実現に向けて、各種対策に積極的に取り組んでいきます。本年度も引き続き、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、貴支部と会員事業場の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年度のあいさつとさせていただきます。

**小田原労働基準監督署
職員配置図** (令和5年4月1日現在)

〒250-0011
小田原市栄町1-1-15 ミナカ小田原9階
TEL：0465-22-7151 (監督課・安衛課)
TEL：0465-22-7152 (労災課)
FAX：0465-22-0074



相談コーナー

カウンター

カウンター

↑
入口

総合労働相談員 興津	未払賃金等調査補助員 深石
総合労働相談員 弓桁	未払賃金等調査補助員 中村

庶務係員 前田	監督官 後藤	監督課長 西元寺
36協定点検指導員 廣田	監督官 岩楯	

	監督官 夏井	安全衛生課長 原
石綿届出点検指導員 柳下	計画届審査員 石塚	

労災・労働保険調査員 町田	労災・労働保険調査員 川島
事務補助員 吉澤	労災・労働保険調査員 野谷

労災・労働保険調査員 山崎	労災認定調査官 岩崎	労災課長 富田
労災・労働保険専門員 大木	給付調査官 長安	

〈各課主要業務〉

■監督課庶務係

- 賃金構造基本統計調査
- その他各種統計調査

■監督課監督係

- 適用事業報告
- 時間外休日労働に関する協定届
- 1ヵ月単位・1年単位の变形労働時間制に関する協定届
- 就業規則(変更)届
- 寄宿舍規則・寄宿舍設置届
- 労働条件等に関する相談

■安全衛生課

- 特定機械等の設置届・落成検査等
- 労働者死傷病報告
- 各種健康診断結果報告
- 安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告
- 労働安全衛生法等に関する相談

■労災課

- 労働保険各種届等
- 労働保険各種請求書
- 労働保険に関する相談

(公社)神奈川労務安全衛生協会
小田原支部功労賞



芦川 義幸 様
 (株)明治ゴム化成



小林 勝年 様
 (株)日立情報通信エンジニアリング



中村 慶一郎 様
 富士屋ホテル(株)



田村 芳久 様
 富士フィルムヘルスケアマ
 ニュファクチャリング(株)
 南足柄竹松事業所

令和 4 年度

安全優良職長厚生労働大臣 顕彰 受賞者

(株)カネカメディックス 神奈川事業所 製造部 中村加奈子



安全優良職長厚生労働大臣顕彰をいただき、ありがとうございました。これもひとえに神奈川事業所所長、上長、関連部署の方々及び職場の皆様のご協力により、いただけたものと考えております。

事故のない安全な環境で、職場の皆様と安心して働けることこそ、安定した生産活動の基盤であり、会社の発展に繋がると考えております。

これからも皆様のご支援、ご指導を頂き、安全な職場を維持向上して行きたいと考えております。

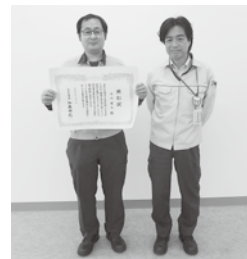


富士フィルムマニュファクチャリング(株) 竹松事業所 製造部 中川健太



この度は安全優良職長厚生労働大臣顕彰をいただき、誠にありがとうございました。今回の受賞は、今まで指導していただいた上司や諸先輩たち、そして現場で安全を第一に考え、協力してくれている仲間たちのおかげだと思っております。

安全は職場の仲間とその家族の生活を守るため、会社全体で取り組むべき重要な課題であり、一人の力で維持できるものではありません。今後はこれまで以上に安全を意識した活動推進に取り組むとともに、後進の育成に力を入れて、安全を持続できる職場作りに尽力してまいります。



左から 中川健太、
 田外事業所長

広報部会活動紹介と役員紹介

広報部会は、年4回支部だよりを発行しています。1部発行までに2回小田原支部事務所に集まり校正や読み合わせを約3時間行っています。以下に発行までのフローと広報部会員を紹介します。引き続きタイムリーな話題を掲載し多くの皆様に登場いただきたいと思いますと考えております。



細谷 誠治
小田原ガス(株)
広報部会部会長



石川 紀弘
第一三共ケミカルファーマ(株)
広報部会副部会長

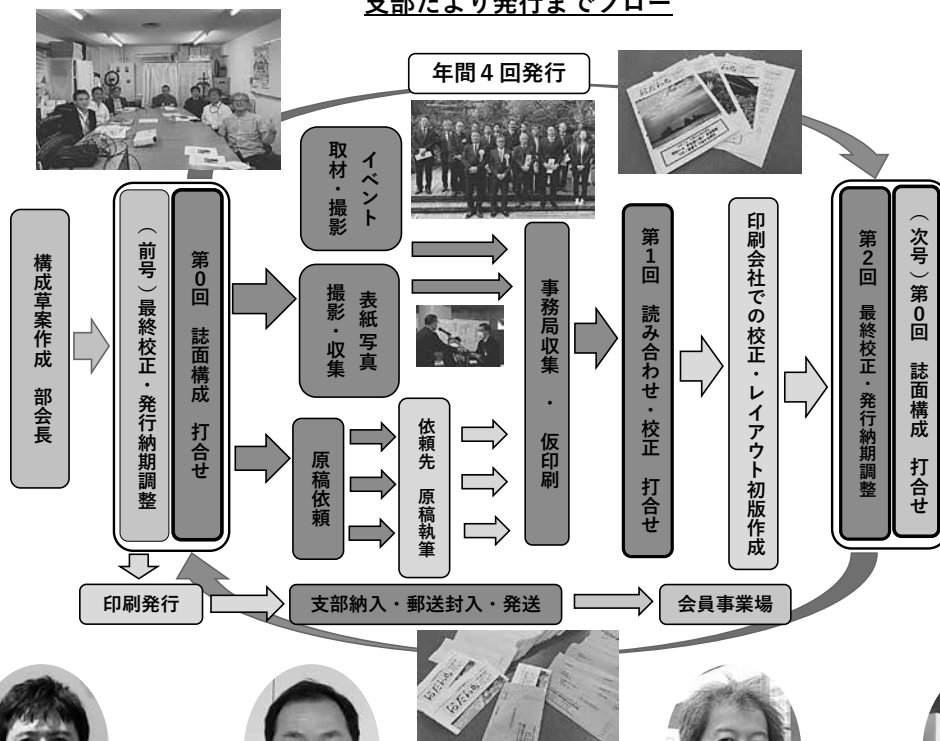


高木 智仁
(株)東海ビルメンテナンス



宇田川 浩幹
(株)カネカメディックス
神奈川事業所

支部だより発行までフロー



尾藤 栄治
(株)ミクニ
小田原事業所



米山 英男
箱根登山鉄道(株)



川 裕司
三菱ケミカルハイテクニカ(株)
小田原テクノセンター



堂前 篤史
日本新薬(株)
小田原総合製剤工場

新規加入会員事業場紹介

- ☆社 名 オージーフィルム株式会社
- ☆所 在 地 神奈川県足柄上郡山北町平山1-24
- ☆代表者名 伊藤 光明
- ☆設 立 2001年4月2日
- ☆従業員数 24名
- ☆事業内容 熱可塑性樹脂を中心とする押出成形
フィルムの開発、製造、販売



〔事務局だより〕

事務局長 鎌田 光郎

今年度は第 14 次労働災害防止推進計画のスタート年度となり、法改正も順次施行されていきます。6 月度に「化学物質管理者選任研修（年 4 回開催予定）」の 1 回目を開催します。化学物質を取り扱う事業場では令和 6 年 4 月施行に向け管理体制の整備が必要となります。お見逃しなく受講されることをお勧めします。

< 5 月度～ 7 月度 講習会 >

- * クレーンの運転の業務に係る特別教育
 - ・ 5 月 11 日 (木) 青色会館
- * フルハーネス型墜落制止用器具特別教育
 - ・ 5 月 15 日 (月) 青色会館
- * 職長教育
 - ・ 5 月 24 日 (水)、25 日 (木) 青色会館
- * 1 トン未満フォークリフトの運転の業務に係る特別教育
 - ・ 5 月 30 日 (火) 青色会館
- * 玉掛けの業務に係る特別教育
 - ・ 6 月 1 日 (木) 青色会館

- * 化学物質管理者選任のための研修
 - ・ 6 月 2 日 (金) 青色会館
- * 有機溶剤業務従事者に対する労働衛生教育
 - ・ 6 月 9 日 (金) Zoom オンライン
- * 安全衛生推進者養成講習会
 - ・ 6 月 13 日 (火)、14 日 (水) 青色会館
- * 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習
 - ・ 6 月 20 日 (火)、21 日 (水) 青色会館
- * 安全管理者選任時研修
 - ・ 6 月 23 日 (金) 青色会館
- * 衛生推進者養成講習会
 - ・ 6 月 30 日 (金) 青色会館
- * 職長能力向上教育
 - ・ 7 月 3 日 (月) 青色会館
- * 新 K Y T 基礎実践研修会
 - ・ 7 月 6 日 (木) 青色会館
- * リスクアセスメント研修会
 - ～自律的な化学物質管理導入に向け～
 - ・ 7 月 11 日 (火) 青色会館
- * 粉じん特別教育
 - ・ 7 月 27 日 (木) 青色会館

散 歩 道

小田原巡礼街道での週末

小田原から国道 255 号線にて酒匂川を渡ったすぐ左手奥に、飯泉観音（勝福寺）があります。

その飯泉観音に向かって、国府津方向からまっすぐ伸びている道路が、巡礼街道と名付けられています。

この巡礼街道は昭和 32 年（1957 年）に工事着工され、小田原市施工の最初の都市計画道路として、工事がなされ、昭和 42 年（1967 年）に完成したものです。工事以前は、

道幅 9 尺（2.7 m）でリヤカーが通る農道であったそうです。今の姿からは想像は出来ません。この巡礼街道へ毎週末、自宅から街道沿いのファミレス、スーパーへ歩いての買い物が我が家の習慣です。巡礼街道は、我が家での休日ランチと買い物に重宝しており、飯泉観音様には大変感謝しております。（ご本尊は木造十一面観音立像 神奈川県重要文化財）（広報部会 宇田川 浩幹）

